

山 东 大 学

二〇一六年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码 623 科目名称 实践日语

(请将所有试题答案写在答题纸上, 写在试题上无效)

一、语言学部分(共4题, 每题15分)

- 1、日本語の連声と転音についてそれぞれ例を挙げて述べなさい。
- 2、日本語を書き表すための文字について述べなさい。
- 3、日本語の男性語と女性語の差異について例を挙げて述べなさい。
- 4、中日受身文の異同について述べなさい。

二、阅读理解(共20题, 每题2分)

请阅读下面的文章, 然后回答问题。在每小题列出的备选项中只有一个是符合题目要求的, 请将其选出。

(一)

日本は結婚率が高い国だと言われている。確かに、「結婚して半人前、子を持って(1)一人前」とも言われ、結婚して子を持つことは、人の一生の中でも大変重要で、また、当然のことだと認識されてきた。(2)結婚することにより、法的にも経済的にも有利になるという側面もある。

ところが、1980年代の後半から、マスコミでは、しばしば男性の結婚難に関する問題が取上げられるようになった。この問題の一番の原因は、20代から30代半ばの女性が、同世代の男性より少ないことである。しかし、(3)それと並んで重要だと思われるのは、若い女性が結婚をしたがらなくなったことである。この現象は「非婚」という流行語まで生んだ。「(4)非婚」とは、無理に結婚せずに独身を選ぶことを意味していて、「未婚」とは違う。

女性がこう考えるようになった背景には、女性の社会進出がある。従来の日本型の結婚は、男性が「(5)嫁をもらう」ということであった。そして女性は、嫁ぎ先で家事や育児に専念し、夫に「養ってもらう」のが普通だった。(6)「男は仕事、女は家事」という考えが今でも残っており、女性はたとえ外で働いていても、家事も全部やらなければならないと考える人が少なくない。女性が「結婚」と「仕事」や「自分の自由にできる時間」を両立させようとする、大きな負担を強いられることになる。それで、最近の職業を持つ女性たちは、このような結婚に疑問を持つようになった。自分が興味を持っている仕事や、せっかく手に入れた経済的にも時間的にも余裕のある自由な生活を、(7)そのような負担のある結婚生活のために簡単にあきらめることはできない、と考えるようになったのである。

こういう女性の新しい結婚観は、かなり定着してきたように思われる。実際には、一生結婚するつもりはないと言う女性はまだ少ない。しかし、自分が納得できる結婚生活を送れる相手が見つからない限り結婚しないという女性が増えていることは確かである。今後、社会が変化するにつれて、結婚の意味や男女の役割分担など(8)、女性だけでなく、男性もより積極的に考えていかなければならないことは言うまでもない。

問1 (1)「一人前」はどう読むか

- A ひとりまえ B いちにんまえ
C ひとりぜん D いちにんぜん

問2 (2)に入れる言葉はどれか

- A だから B にもかかわらず C さらに D そして

問3 (3)「それ」とは何だろう

- A 男性の結婚難 B 結婚率が低いこと
C 女性の結婚難 D 適齢の女性が同世代の男性より少ないこと

問4 (4)「非婚」はどういう現象を指しているか

- A 若い女性が結婚をしたがらなくなった現象。
B 同世代の男と結婚しない現象。

C 未だ結婚の年にならない現象

D 年になっても結婚しない現象

問5 (5)「嫁」はどう読むか。

A かめ B よめ C かよ D か

問6 (6)に入れる言葉はどれか

A そして B しかも C しかし D ゆえに

問7 (7)「そのような負担のある結婚生活」とはどんな生活だか

A 結婚して仕事をやめる生活

B 女性はたとえ外で働いていても、家事も全部やらなければならない生活

C 家事・育児に専念する生活

D 男は仕事、女は家事という生活

問8 (6)に入れる言葉はどれか

A に関して B にとって C に対して D に代わって

問9 上記の文書の内容と一致しないのはどれか

A 日本の結婚率はだんだん低くなっている

B 理想的な相手が見つからない限り結婚しない女性が増えている

C 1985年から日本は結婚難の現象が現れてきた

D 「男は仕事、女は家事」は日本の伝統的な性別役割分担だ

問10 筆者は「非婚」現象の対策に関する提案はどれか

A 男は仕事、女は家事という役割分担を守るべきだ

B 結婚したくない女性に応援すべきだ

C 結婚難に面した男性を助けるべきだ

D 男は仕事、女は家事という役割分担を見直すべきだ

(二)

一般論として言えば、最近の学生にとって仕事の選択とは、「銀行員」とか「公務員」とか「会社員」とかの一種の身分の選択であり、決して職種を選択ではないよ

うだ。ジャーナリズムを志望する者にとっても、その実務の内容が(11)厳密に見えているわけではないという意味では、やはり「新聞記者」とか、「編集者」とか、テレビの「ディレクター」といった、今や華やかになった社会的身分に憧れ、ひかれているところが大きいのであり、必ずしも仕事そのものを就職の目標としているとは言いがたいのではないか。

(12) さらにこの考えを推し進めると、具体的な企業を選ぶ段となれば、就職希望者は一流会社とか優良企業とかの社員となることを望んでいるのであり、ますます露骨に、安定した生活や社会的地位を手に入れようとしているのだ、とも言えよう。いや、場合によっては業種よりなにより先に、就職したい大会社の名前がまず頭にあるのだといったケースさえあるだろう。

(13) それを悪いことだとは思わない。豊かな経済生活や誇り高い地位はだれでも自らのものとしたいのには当然でもあるからだ。ただ、(14) 何によってそれを獲得するのかという一番大切な部分がまったく見えないままに結果だけ求めるのは、問題ではなからうか。自分は何になりたいのかと問うとすれば、その答えの核になればならぬのは仕事であるだろう。いや、この問いかけは、自分は何をしたいのか、と言いなおされるべきだ。

先日、ラジオを聞いていて、ある若い音楽ジャーナリストが、自分は何かになりたいかと思ったことはない、ただ気がついたらこんな職業についていたと語っているのに興味をひかれた。まなじりを決して俺はこういう者になろうと思ひ定め、血のにじむような苦勞と修練を重ねて現在の地位を獲得したなどという話とはほど遠い、(15) いかにも現代風な自然な生き方として彼の語るところは納得できた。と同時に、(16) 彼には彼なりのその道での積み重ねがあったはずだとの思いもぼくは打ち消しがたかった。

(17)彼は、就職という定められた形を通してではなく、才能と努力と幸運とによって今の地位を得ることができたのだろう。しかし普通の学生にとって(18) それは望むべくもない。もしも何にもなりたくないと思っていれば、そのまま何にもならず一生を終えてしまう可能性のほうがはるかに大きいに違いない。何にも

ならなくともよいかもしれないが、(19) のではあるまいか。

問 11 (11)「厳密」はどう読むか

- A けんみつ B げんみつ C げんみち D げんみ

問 12 (12)「さらにこの考えを推し進めると」が指す内容はどれか

- A 「身分の選択」と「職種の選択」との違いについて、さらに言えば
B 学生の職業選択についての一般論に対して反論を述べれば
C 「社会的身分」によって仕事を選ぶ最近の学生についてさらに言えば
D ジャーナリズム志望の学生が多い理由について、さらに言えば

問 13 (13)「それ」が指す内容がどれか。

- A 安定した社会的地位を望むこと
B 仕事そのものを就職の目標とすること
C まず業種を考慮すること
D ジャーナリズムを志望すること

問 14 (14)「何によってそれを獲得するのかという一番大切な部分がまったく見えないままに結果だけを求めるのは、問題ではなかろうか」とあるが、言いたいことは何か

- A どういう仕事をすれば豊かな生活ができるのかを考えるべきだ。
B 「職種の選択」も大切だが、「身分の選択」が優先されるべきだ。
C 自分がどういった仕事をしたのかを考えるべきだ。
D 結局のところ自分は何になりたいのかを考えるべきだ。

問 15 (15)「いかにも現代風な自然な生き方」とは、どんな生き方をいうのか。

- A 豊かな経済生活をしようとする生き方
B はなやかな社会的身分にあこがれる生き方
C 何かになろうと決めて、一生懸命努力をしていく生き方
D 何かになろうと決めず、好きなことをしていく生き方

問 16 (16)「彼には彼なりのその道での積み重ねがあったはずだ」とはどんなことを言っているのか。

- A その若いジャーナリストは、就職しなかったから成功したのだ。
B その若いジャーナリストは、現代風な生き方のせいで成功しなかったのだ。
C その若いジャーナリストに努力がなかったら、成功しなかったのだ。
D その若いジャーナリストは、血のにじむような苦勞をして成功したのだ。

問 17 (17)に入れる言葉どれか

- A つまり B しかし C だが D だから

問 18 (18)「それ」が指す内容として最も適当なものを一つ選びなさい

- A 音楽ジャーナリストになること
B 苦勞と修練を重ねて地位を獲得すること
C 才能と努力と幸運によって地位を獲得すること
D 何にもならず一生を終えてしまうということ

問 19 これまで述べられたことの内容から考えて、(19) の中にはどんな言葉を入れたらよいか。

- A 何にもならず一生を終えるのもけっこうおもしろい
B 何もしないまま一生を終えるのはとても空しい
C 何かになったら、その一生は苦しい
D 何かをしたとしても、その一生はとてもつまらない

問 20 上の文章に題をつけるとすれば、次のどれが最も適当か。

- A 「自然な生き方」とは
B 「ジャーナリスト」という仕事の意味
C 「優良企業」と「社会的地位」
D 「何かになること」と「何かをすること」

三、翻译 (共 2 题, 每题 20 分)

1、请将下面古文译成现代日语。(20 分)

をとこもすなる日記といふものを、をむなもしてみんとてするなり。それのとしのしはすのはつかあまりひとひのひのいぬのときに、かどです。

そのよし、いさゝかにもものにかきつく。あるひと、あがたのよとせいつとせはてて、れいのことどもみなしをへて、げゆなどとりて、すむたちよりいでて、ふねにのるべきところへわたる。かれこれ、しるしらぬ、おくりす。としごろよくくらべつるひとびとなん、わかれがたくおもひて、日しきりにとかくしつゝ、のゝしるうちによふけぬ。

2、请将下面的文章翻译成汉语。(20分)

木枯ちしが吹いてきた。十一月中旬のことであった。ある朝、私は潮の押し寄せてくるような音に驚かされて、目が覚めた。空を通る風の音だ。時々それがしずまったかと思うと、急にまた吹きつける。戸も鳴れば障子も鳴る。ことに南向きの障子にはバラバラと木の葉のあたる音がしてその間には千曲川の河音もふだんからみるとずっと近く聞こえた。

障子を開けると、木の葉は部屋の内までも舞い込んでくる。空は晴れて白い雲の見えるような日であったが、流れのところに立つ柳なぞは烈風に吹かれて髪を振るうようにみえた。枯れ枯れとした桑畑に茶褐色に残った霜葉なぞも左右に吹きなびいていた。

その日、私は学校の行きと還りるとに停車場前の通りを横ぎって、真綿帽子やフランネルの布で頭を包んだ男だの、手ぬぐいをかぶって両手を袖に隠した女だのの行き過ぎるのに会った。行き来の人々は、いずれも鼻汁をすすったり、眼側を紅くしたり、あるいは涙を流したりして、顔色は白っぽく、頬、耳、鼻の先だけは赤くなって、身を縮め、頭をかがめて、寒そうに歩いていた。風を後ろにした人は飛ぶようで、風に向かって行く人はまた、力を出して物を押すようにみえた。

四、作文(10点)

研究についての考え